

夢窓 幼稚園通信 第6号

2025年 4月 30日

先日 有志の皆さんとの天引の田んぼでの どんぐり体験では、心も身体もまるごとよろこびいっぱいになりました。

もちろん 広がる青い空の下、美味しい空気を呼吸しながら 緑に包まれ おひさまの光をいただいての... 体験ですから、感覚全開の感じでしたが、中でも素足でダイレクトに感じる どんぐりことの いのちのやりとりをみんなしていたのだと思います。

眠っていた感覚が目覚め開いていく 瞬間こそ、世界と他ならない自分自身により深く出会い、帰依し いのちを感じているような気がします。

そして 何より 気持ちよくうれしいのでしょ！

学生の頃 例えば「足の裏で世界を感じる」とか「足の裏で考える」といったことを、特別な時間を作ってよくしていたのですが、久しぶりに そんなことを思い出しました。大地と空の間を生きる私たちにとって、きっと とても大切なことのような気がしますし、これからの時代ますますそういう機会や体験が必要なのだと思います。日々の生活の中でも 時間がある時には、門からくつを履き替える 三和土までの砂を掃いて できるだけ足の裏がじゃりじゃりしない心地いい足の運びができたらいいな、と思っています。

生きる意志を育んでいる = ゆたかな感覚の体験をしている子どもたちが過ごす場 と 時間だからです。

さあ 5月がやってきます。

子どもたちは 心地のいい風の中を、山盛りの感覚を倒かせながら 世界に、いのちたちに出会っていくことでしょう。そして 言葉や 動きや 歌声、人とのやりとり...を通して その よろこびの体験を表現していくことでしょう！

よき 5月を みんなで つむいでいきたいと思います。
“風立ちぬ いざ 生きめやも！”です。

園長 弁光 泰雄